

令和2年度 健全化判断比率の状況				Ⅲ 実質公債費比率							
指標の種類	積丹町の状況 (前年度数値)	早期健全化基準	財政再生基準	区 分	決算額 (単位: 千円、%)			左の内訳 (R2)			
					H30	R1	R2				
比率の状況	I 実質赤字比率 (%)	- (-)	15.00	20.00	元利償還金の額(繰上償還額を除く。)	(1)	335,003	380,725	367,876	(4)の内訳	決算額 (単位: 千円)
	II 連結実質赤字比率 (%)	- (-)	20.00	30.00	積立不足額を考慮して算定した額	(2)					
	III 実質公債費比率 ※3カ年平均	10.0 (10.1)	25.0	35.0	満期一括地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	(3)				簡易水道会計	41,064
	IV 将来負担比率 (%)	56.8 (65.4)	350.0		公営企業債の償還の財源に当てたと認められる繰出金	(4)	101,871	89,031	67,523	下水道会計	26,436
					一部事務組合等の起こした地方債の償還に充てたと認められる補助金又は負担金	(5)	17,725	17,722	16,615	国民健康保険会計	23
I 実質赤字比率				分 子 母	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	(6)	1,016	9,072	13,571		
区 分					一時借入金の利子	(7)	24	120	100		
決算額 (単位: 千円、%)					特定財源の額	(8)	13,493	14,177	12,525		
繰上充当額 (A)					災害復旧費等に係る基準財政需要額	(9)	275,114	298,204	284,760		
支払繰延額 (B)					災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るもの)	(10)					
事業繰越額 (C)					事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(11)	27,523	25,674	22,361		
標準財政規模等 (D)					事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るもの)	(12)				(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)
実質赤字比率 ((A) + (B) + (C)) / (D)					密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(13)					
II 連結実質赤字比率					密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(14)	6,630	6,654	6,332	利子補給	1,108
資金不足比率					小計 ((1)~(7)) - ((8)~(14))	(A)	132,879	151,961	139,707	その他	12,463
区 分					標準財政規模等	(15)	1,682,699	1,720,781	1,780,348		
決算額 (単位: 千円、%)					(9) ~ (14) の 額	(16)	309,267	330,532	313,453		
左の内訳 (R2)					小計 (15) - (16)	(B)	1,373,432	1,390,249	1,466,895		
実質赤字比率 ((A) + (B) + (C)) / (D)					実質公債費比率 (A) / (B) × 100		9.67	10.93	9.52		
II 連結実質赤字比率					IV 将来負担比率						
資金不足比率				区 分							
区 分				決算額 (単位: 千円、%)			左の内訳 (R2)				
実質収支	一般会計等	(1)	△ 82,670	(N-1)年度末一般会計等の地方債残高	(1)	3,443,308			(3)の内訳	決算額 (単位: 千円)	
		(2)		債務負担行為に基づく支出予定額	(2)						
		(3)		一般会計等以外の会計に地方債の元利償還に対する一般会計等負担見込額	(3)	543,087	簡易水道会計		308,934		
		(4)		組合等の地方債の元利償還に対する当該団体の負担見込額	(4)	29,053	下水道会計		232,352		
資金不足・剰余額	法適	(5)		退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額	(5)	629,099	国民健康保険会計		1,801		
		(6)	0	設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額	(6)						
		(7)	0	連結実質赤字額	(7)						
		(8)	0	組合等の連結実質赤字額相当額のうち当該団体の一般会計等の負担見込額	(8)						
実質収支	法非適	(9)	0	(N-1)年度末の充当可能基金現在高	(9)	1,139,990					
		(10)	0	特定の歳入見込額	(10)	88,475					
		(11)	0	地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額	(11)	2,582,537					
		(12)	0	小計 (将来負担額 - (9) ~ (11))	(A)	833,545	(6)の内訳	決算額 (単位: 千円)			
その他特別会計	その他特別会計	(13)	0	標準財政規模等	(12)	1,780,348					
		(14)	0	災害復旧費等に係る基準財政需要額	(13)	284,760					
		(15)	0	災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るもの)	(14)	0					
		(16)	0	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	(15)	22,361					
その他特別会計	その他特別会計	(17)	0	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るもの)	(16)						
		(18)	0	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金	(17)						
		(19)	0	密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る。)	(18)	6,332					
		(20)	0	小計 ((12) - 算入公債費等(13) ~ (18))	(B)	1,466,895					
連結実質赤字額 ((1)~(12)の絶対値) (A)				将来負担比率 (A) / (B) × 100			56.8				
標準財政規模等 (B)				(注)							
連結実質赤字比率 (A) / (B) × 100				1. 連結実質赤字額は、赤字会計の合計値と黒字会計の合計値の絶対値であり、赤字の場合は整数値となる(黒字の場合は負の数となる)。 2. 標準財政規模等とは、標準財政規模に臨時財政対策債発行可能額を加えたもの。 【実質赤字比率】 一般会計の赤字が、町税や普通交付税の財源の規模である標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。 【連結実質赤字比率】 全ての会計の黒字や赤字を合算し、積丹町全体での赤字の程度が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。 【実質公債費比率】 一般会計が負担する借入金の返済額や借入金に準ずる経費が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。 【将来負担比率】 一般会計の借入金や、将来支払っていく可能性のある負債が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているかを見るものです。							